

七里地区  
社会福祉協議会

【発行】  
会長 山田 長吉  
【編集】  
広 報 部

〒337-0014  
さいたま市見沼区大谷1472  
電話・FAX 048-687-9997  
<http://7sato.sakura.ne.jp/>  
E-mail : nanasato-shakyo@nifty.com

# いなほ



第 34 号



ハチの子を巣から取り出して料理



毎年、夏休み期間を使って、地域の子どものための交流を促進するため、夏休み子ども講座を開催しています。

普段は、同じ学校・学年の友達同士の付き合いが多くなりがちです。

そこで、子どもたちが大変好きな「昆虫」をはじめとした地域の自然・生物を、地域の子どもたち同士で学びながら新たな発見に感動しています。

また、絵画の作成を通じて、楽しみながら自由な自己表現方法を学びます。

夏休みの宿題作成にも役立ち、一挙両得となっています。

こうした機会を通じて、地域の仲間づくりが進んでくれることを期待しています。

### 今年のテーマ

#### 1 「昆虫のおはなし」

— 昆虫の不思議な世界 —  
びっくりムシ・変な虫教室  
『ハチとアリとシロアリ』



#### 2 「絵画教室」

世界にひとつだけの

絵を描こう



### 昆虫のおはなし

―昆虫の不思議な世界―  
くびくクリムシ・変な虫教室

『ハチとアリとシロアリ』

三十七名参加

八月七日(木)、七里公民館レクホールにおいて開催しました。

今年は、安東先生、萩原先生に加え、蜂の専門家草間先生をお招きしてお話が行われました。

また、アース製薬の協力を得て、世界の珍しい大クワガタ虫や光るゴキブリなどを見ることもできました。

さらに、萩原先生がいろいろな所に出掛けて採取した昆虫の標本も展示されました。



プロジェクトを使い、ウスバカゲロウが虫(餌)を捉える様子などを観察することもできました。

特に参加者が驚いたことは、ハチの子を食べたことです。これは、なかなか経験の出来ないことです。実際には蜂の巣から幼虫を取り出し、お尻から糞を抜き出してフライパンで調理して試食しました。会場は大騒ぎ。おもしろいと言っ子もあれば、ぐちょぐちょして気持ち悪い。マヨネーズを食べているようだと思感を述べていました。大変貴重な体験ができたことと思います。



ハチの子を食べてみよう!

この講座は、夏休みの自由研究のお手伝いとして始められました。子どもの理科離れが叫ばれる中、子どもたちに生き物の不思議さ、生命の大切さ、環境の変化などに一人でも多くの子どもにも興味をもってもらえるよう工夫しています。

### 絵画教室

世界にひとつだけの絵を描こう

二十五名参加

七月三十日(水)七里公民館レクホールにおいて、新井壽代先生による絵画教室が開催されました。

道具の使い方や色の塗り方をはじめ、絵を描く上で大切なポイントを指導していただき、参加された皆さんそれぞれ個性を發揮した、大変素晴らしい作品が仕上がりました。

#### 絵を描くポイント

・テーマを決める

・得意なもの・好きなもの

・下描きを大切に、丁寧に

形は大きく、色は明るくはっきりと

#### 色の塗り方

・色の計画(どこにどの色を塗るか)

・うすい・あわい色、広い所

↓濃い、強い所、細かな所

・絵具などの道具はきき手側に置く

・パレットの小さい所に一色づつ

広い所でまぜる

・仕上げは丁寧に

すみをよくぬる

(色えんぴつ・水性マーカー)



### 赤い羽根街頭募金

募金額 二七、五四〇円

十月一日(水)から、全国一斉に赤い羽根募金が実施されるのに併せて、当地区社協も「七里駅前」・「コモディイイダ七里店頭」・「フードガーデン七里店頭」において街頭募金を行いました。見沼区長さんも参加し、夕方の帰宅と夕食の買い物との間に合わせて行いました。



子どもたちをはじめ、買い物・勤め帰りの方など沢山の方々の温かいご協力により、多くの募金が集まりました。早々、共同募金会に振り込みさせていただきました。

地区社協役員・民生委員・大谷作業所「ななくさ」の皆さんなど二十三名の他、市社協見沼区事務所職員の皆様の協力を得て行われました。ありがとうございました。

### 赤い羽根・歳末たすけあい募金にご協力を

現在、赤い羽根・歳末たすけあい募金を全国一斉に実施しております。

この共同募金は、地域福祉を推進することを目的として、自分たちの住む地域を自らの手で、誰もが安心して暮らせる街にするために、子育て支援、高齢者見守り活動など身近なところに役立てられています。

あたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

# 平成二十六年年度「敬老会」

今年も各自治会において盛大に敬老会が開催されました。長寿を祝い、地域における見守りの一助として定着しています。  
今後、益々高齢者が増大してまいります。皆様がこの七里地区において健康で生き生きとして過ごしていただけるよう社協としても様々な工夫をしてまいります。

## 大谷第一自治会

会長 菊地孝夫

当自治会の七十五歳以上の敬老会対象者は四十名で、全世帯の約二割にあたります。

九月十四日(日)は、幸い天候に恵まれ約半数の方に出席頂き、自治会集會場で「長寿を祝う会」を催しました。



宴会は、有志の方の乾杯で始まり、懇談のあいだに交互に余興を取り入れました。

余興は、飛び込みカラオケ、フラダンス三名、相撲甚句三名、ビンゴゲームなどで楽しい時間を過ごしました。

特に相撲甚句は大好評で、リクエストがあがったほどでした。



皆さんの昔話にも花が咲き、笑顔満開で大変楽しい賑やかなお祝いとなりました。

当日残念ながら出席頂けなかった方には、役員が見回りを兼ねて直接自宅を訪問し、記念品と粗品及び紅白まんじゅうをお渡ししました。

これからも皆様が無事で安心して日々楽しく過ごされますようお願いいたします。



## 膝子自治会

会長 小島一夫

今年も九月十五日に東楽園において敬老祝賀会を開催しました。

膝子地区の敬老会対象者は九十一名で、その内新しく六名の方が仲間入りしました。

当日は子ども会六名、自治会役員七名の方にお手伝いして頂き、長寿のお祝いをしました。

第一部では、事業部の司会進行により自治会長の挨拶と来賓の方々からのご祝辞を頂きました。

第二部では、クイズ、カラオケ、体操と楽しんだ後、食事をしながら賑やかに過ごしていただきました。

尚、当日の敬老祝賀会に出席頂けなかった対象者の方には、役員がご自宅を訪問し、記念品をお渡ししました。



## 大谷七里パークホームズ自治会

会長 大越 圭子

当自治会の敬老会対象者は二十二名でした。

今年はお茶のセットと交通安全保護者の会より頂いた反射テープを贈呈しました。

役員が対象者のお宅を訪問し、お渡ししました。

敬老祝賀会を今後当自治会でも開催出来ればと願っています。

これからも皆様が無事で楽しい日々を過ごされますことを心よりお祈りしております。

## 各地区別敬老会対象者数

七里地区の七十五歳以上の敬老会対象者は、次のとおりです。

- ◇膝子 九一名 ( 九一名 )
- ◇大谷 一、一〇〇名 ( 一、〇一五名 )
- ◇蓮沼 八六六名 ( 八〇四名 )
- ◇風渡野 五六四名 ( 五一四名 )
- ◇東門前 三七八名 ( 三六九名 )
- ◇東宮下 六四六名 ( 六〇〇名 )
- ◇新堤 四七五名 ( 四三二名 )
- 合計 四、一一八名 ( 三、八二五名 )

( ) 内は昨年の対象者数

対象者に対しては、さいたま市及び七里地区社協から自治会に補助金が交付されています。

### 一〇〇歳以上の方

- 一〇三歳 東門前
- 一〇二歳 風渡野
- 一〇〇歳 大谷、東門前②

東宮下、恵の里

の合わせて七名です。全て皆さん女性です。

いつまでもお元気でお過ごしください。

七里ふれあいサロン(第11回)

一八〇人参加

九月二十八日(日)七里コミュニティセンターにおいて、恒例の「ふれあいサロン」が開催されました。

マリンバ・ピアノ演奏と地元出身のオペラ歌手加茂下稔先生の素晴らしい歌と楽しいトークが行われました。秋のひと時を優雅な気分でご過ごすことができました。



第一部

「マリンバ・ピアノ演奏」

マリンバ・プロムナーズによって皆さん聞き覚えのある「星に願いを」から演奏が始まりました。大きな古時計や懐かしのテレビドラマ音楽など、マリンバとピアノだけでは思えない演奏です。会場の皆さんは選曲の素晴らしいさに、自然と曲の世界に引き込まれました。あまちゃんのテーマ曲では、会場から手拍子が湧きあがりました。全体でバチ四本を使いこなして演奏する姿に見とれ、マリンバのハーモニーの美しさを感じる存分楽しむことができました。



第二部

「加茂下稔先生と仲間たち」の歌とトーク

加茂下稔先生と仲間の、五人のソプラノ女性コーラス隊により「ジブリ作品」から始まりました。

美空ひばりさんの曲や本物のオペラを身近に聴くことができ、とても有意義な二時間でした。

加茂下先生のテノールは、マイクを必要としない声量で驚きました。トークも楽しく会場は笑いが絶えませんでした。



指揮者は「交通整理と同じ」という解説に、なるほどと思いました。

今までオペラは私たちには縁遠いもの思っていました。大変身近に感じるこのときで聴いてみようかなと思つて頂けると幸いです。



最後に「赤とんぼ」と「ふるまひ」を会場の皆さんと一緒に歌い、とても楽しいひと時でした。

原稿 広報部 阪上 志麻子

### 健康講座

#### 認知症の正しい知識

予防と対策・今できること

七十九名参加

「認知症の正しい知識」を聴講して

総務部副部長 竹内 慎一

医療法人社団「蓮田よつば病院」事

務部部长稲橋秀樹氏を講師としてお迎えして、二時間を越える講演となりました。素晴らしい講演内容に誰一人途中退席される人なく、最後まで熱心に聞き入っていました。

冒頭から、認知症患者は、精神病院に入院させられ身体を拘束されることがあると聞き、驚かされました。しかし、説明を聞いてなるほどと思う点もあります。

ただし、よつば病院ではその様なことは原則行わず、患者の生活が今日より明日に向かってよい状態になるよう方策を考え、安心して治療に専念出来ているとのことでした。



七里駅はどの方向？

さて認知症とは？

簡単に言ってしまうえば認知症は病名ではなく、社会あるいは日常的な生活を行う上で明らかに支障をきたす状態のことです。

認知症になる原因は未だ明らかになっておらず、有効な薬も開発されていない状態です。

大切なことは、患者と向き合い、むやみに声を荒げたり、叱責したり、否定せず、優しく穏やかに対応して不安を取り除くことのようにです。



稲橋氏の講演

誰でもなりうる認知症にならない為にどうするか？

社会的つながりのある生活をする、つまり家に閉じこもらず趣味を持ったリ、サークル活動に参加したりできるだけ

多くの人と会話を楽しんだりすることだと理解しました。

現在、全国で介護を受けている人、

治療の必要な人が一千万人を数え、これからも高齢者の増加に比例して認知症患者も増加すると思われれます。更にショッキングだったのは、今後病院が潰れていく時代になるというお話がありました。こうした背景から、現在は在宅で診療する方向に向かっており、これからは家庭だけでなく周囲のみならず、そして地域で共に支え合うことが大切だと先生は述べておられます。

講演の終わりに参加者から多くの質問が行われました。それぞれ身につまされるものでしたが、ご家庭における認知症の方々への接し方に大きな示唆になったものと思います。



ジャンケン大会

### 平成二十六年度 さいたま市社会福祉大会

#### 市長表彰(個人)

社会福祉団体関係者

長島 建夫

長年に亘り、積極的に募金活動を推進するとともに、地域の高齢者や子ども会の交流にも尽力するなど地域福祉の充実に大きく貢献しました。

#### 会食ボランティア

- 横井 幸子 須田 典子
- 加藤 美枝 松崎 勝子
- 長谷川典子 豊永美栄子

長年に亘り、ふれあい会食サービスボランティアとして、地域の単身高齢者の昼食作りに積極的に活動してきました。

#### 会長表彰(団体)

東門前第一自治会

女性部

長年に亘り、単身高齢者の方々に、定期的に配食サービスを通じ、見守り訪問活動を行ってきました。



◇ お知らせ ◇

※詳細は地区社協事務所まで

福祉教養講座Ⅰ

災害時高齢者生活支援講習

災害時気をつけたい病気や症状。知って役立つ技術等

日時 十一月十三日(木) 九時三十分～十二時

場所 七里公民館 レクホール 日本赤十字社

講師 埼玉県支部 埼玉支部

持ち物 浴用タオル二枚 スーパーのレジ袋 折り込み広告・風呂敷 飲み物・上履き・筆記用具

ふれあいウォーキング

見沼たんぼ片柳を歩こう

日時 十一月十一日(火) 九時～十五時

コース 七里公民館玄関前集合 雨天の場合中止 七里公民館

持ち物 見沼くらしつく館 約八km

お弁当・水筒・敷物、帽子



ふれあいコンサート

日時 十二月七日(日) 十二時三十分～十五時

会場 七里コミュニティセンター

内容 マンドリン演奏と解説 エレクトーン演奏と

みんなで歌おう



子ども書き初め会

日時 十二月二十五日(木) 一部 九時三十分～ 十一時三十分

二部 十三時三十分～ 十五時三十分

場所 七里公民館 レクホール

内容 冬休みの課題 「書き初め」作品制作

小三～中三まで

持ち物 書き初め用道具一式 新聞紙、用紙、上履き



平成二十六年補助金決定 『ふれあい福祉基金運用補助金』

さいたま市福祉総務部 三〇〇,〇〇〇円

「地域福祉の促進と情報提供機能の強化(印刷機の購入費用の一部として)」に助成されました。

さいたま市社会福祉協議会 特別賛助会員への加入

一〇 一万円

(株) タムロン 十

(株) 高須自動車 一〇

(株) 七里ハウジング 一〇

埼玉東部ヤクルト販売(株) 一〇

日本ハム東販売(株) 一〇

◇ 寄附 ◇

風濃野 出村正和様より

五〇,〇〇〇円

ありがとうございます。

地域福祉活動費として有効に使わせていただきます。



◇ 編集後記 ◇

各自治会の敬老会事業の様子や夏休み子ども講座、健康講座等の記事を掲載いたしました。地区社協ではこうした様々な事業を開催しています。毎月発行している「いなほミニ通信」や「ホームページ」等に事業の案内を掲載していますのでご覧ください。多くの方々の参加をお待ちしています。

ご意見・ご要望がありましたら、地区社協事務所までお寄せください。なお、年末までに「敬寿園七里ホーム」内に事務所を移転する予定です。

七里地区社協事務所

開設日時 月曜日～金曜日 午後一時～六時まで

(祝日及び年末年始は除く)

TEL・FAX 六八七一九九九七

